

Koji Oikawa Piano Collection Vol.4
- Schubert -

情熱のピアニストが描く、
深遠なるシューベルトの世界

及川浩治ピアノ・コレクション 「シューベルト」

- シューベルト晩年の境地、そして最後のソナタ -

©Ayumu Gombi

■ フランツ・シューベルト Franz Schubert

4つの即興曲 D899, op.90

Four Impromptus D899, op.90

- 第1番 ハ短調 No.1 in C minor
第2番 変ホ長調 No.2 in E-flat major
第3番 変ト長調 No.3 in G-flat major
第4番 変イ長調 No.4 in A-flat major

ピアノ・ソナタ第21番 変ロ長調 D960

Piano Sonata No.21 in B-flat major, D960

※未就学児入場不可 ※曲目・曲順等は変更となる場合がございます。
※車椅子でご来場のお客様はご購入前にチケットスペース03-3234-9999
までお問い合わせください。

2026年4月18日(土)14:00開演(13:30開場)

Hakuju Hall(ハクジュホール)

・代々木公園駅(千代田線)出口より徒歩5分
・代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

料金:6,000円(全席指定・税込)

チケット発売開始
2026年1月10日(土)

ご予約・お問い合わせ:
チケットスペース 03-3234-9999

チケットスペースオンライン

チケットぴあ <https://pia.jp/>
セブンイレブンで直接販売

ローソンチケット <https://l-tike.com/>
ローソン、ミニストップで直接販売

イープラス <https://eplus.jp/>
ファミリーマートで直接販売

主催:インタースペース 協力:エイバックス・クラシックス

ここでしか生まれない音楽、ここにしかない感動！

及川浩治の濃密な音色が結晶する特別な空間に、シューベルトの旋律が満ち溢れる。

及川浩治が「今もっとも弾きたい曲」を距離感の近い親密な空間でお届けする<ピアノ・コレクション>シリーズ。第4弾のテーマは「シューベルト」です。晩年に作曲された珠玉の2曲を演奏します。

「4つの即興曲 D899, op.90」は1827年、シューベルトが亡くなる前年の作品。深い精神性を湛えた第1番、情熱を感じさせる第2番、清潔で情感に満ちたメロディが心を打つ第3番、特徴的なリズムと華麗さが魅力の第4番、と4つの独立した曲で構成され、死が近づいた悲壮感よりも自由さと色彩溢れる美しさを随所に感じることができるシューベルトの代表作です。

後半の「ピアノ・ソナタ第21番 D960」は、亡くなるわずか約3か月前に書かれた最晩年にして、生涯最後のピアノ・ソナタです。穏やかで美しく、時に物悲しくも、最後には力強く光を感じさせながら曲は閉じられます。全4楽章に通底する崇高さは追従を許さず、シューベルトの辿り着いた境地と呼ぶにふさわしい傑作です。

及川浩治が「オール・シューベルト・プログラム」を取り上げるのは今回が初。円熟期を迎え「今こそ弾きたい」と選んだシューベルトの集大成をどのように響かせるのか。ご期待ください。



及川浩治 ピアノ Koji Oikawa, Piano

1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。
1990年ショパン国際ピアノ・コンクール最優秀演奏賞(Honourable mention)、マルサラ国際音楽コンクール第1位受賞。ショパン没後150周年の1999年「ショパンの旅」と題したコンサート・ツアーを行ない全国で3万5千人を動員。
2008年～2011年には「10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストであり、ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は、幅広い層の共感を得ている。
近年は海外オーケストラとの共演も多数。CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリース、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出された。
現在、国立音楽大学客員教授、宮城学院女子大学音楽科特任教授。
オフィシャルサイト <https://koji-oikawa.com>



Hakuju Hall (ハクジュホール)

・代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分
・代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5
(株)白寿生科学研究所本社ビル 7F